

あおい開惺高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
公共	2	東京書籍「公共」	DVD-ROM「公共」
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標

- 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】 現代社会の諸課題（政治・経済面）を考え、その課題の解決に向けての手がかりを主体的に追究しようとしている。

【知識・技能】 現代社会の諸課題（政治・経済面）に関連する、基本的な内容についてその理解に必要な情報探究の技術を身に付け、選択・判断の手がかりとなる知識の理解を深めることができている。

【思考・判断力・表現力】 現代社会の諸課題（政治・経済面）について、その現状を分析し、解決に向けて必要となる取り組みを考え、自分の言葉で説明できる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回  提出期限 5月29日	◆第1部 公共のとびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第3章 公共的な空間における倫理	1)青年期における自己形成 2)キャリア開発と社会参画 3)個人として尊重しあう人間 4)公共的な空間をつくる人間 6)功利主義と幸福の原理  ◆先哲の思想に学ぶ 5)中国の思想 6)日本の思想	面接指導【～2月26日まで】 ・青年期の特徴や発達課題について ・功利主義の快樂や幸福の考え方について ・諸子百家について ・日本的儒教と国学 ・西洋思想の受容と日本的展開  ●トロッコ問題 自分ならどういう行動をとるか？(集団授業) ●「義賊」の行いは支持できるか？(集団授業)
第2回  提出期限 6月30日	第4章 公共的な空間における基本的原理  ◆第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	◆近代民主政治の展開と民主主義 8)公共的な空間における協同 9)民主主義の原理 11)人権保障の権利 12)日本国憲法の理念 ◆日本国憲法と基本的人権 ◆ジェンダー平等と性の多様性 14)地方自治のしくみと役割 15)国会の仕組みと役割 16)内閣のしくみと役割 17)政治参加と選挙 19)メディアと世論	・法の支配や立憲主義の意義について ・人間の尊厳と平等、基本的人権の尊重の意義について ・地方自治の原則としくみについて ・地方自治の課題について ・国会の仕組みと役割について ・今日の行政の課題について ・政治参加の意義について ・世論の意義、メディアの世論への影響について ・世論形成の現状と課題などについて ●SNSからの情報収集、情報発信などで注意すべき点(集団授業)

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画 (実施内容)
第3回  提出期限 8月31日	第2章 法の働きと私たち	20) 法と社会規範の役割 21) 法の成立と適用 22) 私法の原則 23) 多様な契約 24) 消費者の権利と責任 ◆消費者トラブルにあったらどうする？ ◆国民の司法参加 25) 司法の仕組みと役割 26) 刑事司法と司法参加の意義	・法と社会規範の役割について ・消費者問題について ・消費者契約や消費者法制，消費者支援機関の役割等について ・司法参加への意義と責任について ●統治行為論とは？(集団授業)  ■前期単位認定試験【9月】
第4回  提出期限 10月30日	第3章 経済社会で生きる 私たち	28) 現代の企業 29) 市場経済の仕組み ◆戦後日本経済の動き 32) 中央銀行の役割と金融環境の変化 33) 財政の働き 34) 財政の課題 35) 社会保障の考え方 36) 社会保障の課題と考え方	・価格形成，市場の失敗について ・中央銀行の役割，金融政策について ・金融の自由化と金融商品の多様化について ・日本の財政危機の原因について ・資金調達と直接金融，間接金融について ●キャッシュレス化のデメリット(集団授業) ●将来の資産形成をどうする？(集団授業) ●日本の社会保障の課題とこれから(集団授業) ●将来に備える年金制度(集団授業)
第5回  提出期限 11月30日	第4章 私たちの職業生活  第5章 国際社会の中で生きる私たち	◆労働者の権利と雇用・労働問題 39) 労働者の権利 40) 現代の雇用・労働問題 ◆国際社会のルールとしくみ 41) 国際社会の成り立 ◆日本領域と領土をめぐる問題 42) 国際連合の役割 ◆戦後国際政治の動き	・労働の意義と職業選択について ・現代の雇用，労働問題について ・国際連合における安全保障，国際連合のさまざまな役割と課題について ・冷戦後の世界の動きについて ・冷戦終結後の日本の安全保障政策，自衛隊と海外派遣について ●A I時代の職業生活をどのように考えればいいのか？(集団授業)
第6回  提出期限 12月25日	第5章 国際社会の中で生きる私たち	◆国際社会と平和主義 43) 日本の平和主義と冷戦 44) 冷戦後の世界と日本 ◆国際平和への課題 45) 現代の紛争とその影響 46) 平和な国際社会に向けて ◆国境をこえて広がるNGOの活動 ◆グローバル化する国際経済 47) 貿易の仕組み 48) 国際金融のしくみと動向 49) グローバル化と今日の国際経済 50) 国際経済の諸課題 ◆戦後国際経済の動き	・日本の平和主義とその課題 ・国際紛争とその影響について ・国際貢献の意義について ・現在の国際経済秩序と動きについて ・地域統合の動きについて ・南北問題，南南問題，人口・食料問題について ●日本のODAの現状とその課題(集団授業)  ■後期単位認定試験【12月～1月】

教科・科目	単位数	教科書	副教材
政治・経済	2	東京書籍「政治・経済」	DVD-ROM「政治・経済」
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標

- 1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 2 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】 知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みをしようとしている。

【知識・技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

【思考・判断力・表現力】 社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりすることができる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回  提出期限 5月29日	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治	<b>1節：民主政治の基本原則</b> 1)民主政治の成立 2)法と民主政治 <b>2節：日本国憲法の基本原則</b> 1)日本国憲法の制定と基本原則 2)基本的人権の保障 3)平和主義	面接指導 【～2月26日まで】 ・社会契約説について ・基本的人権について ・大日本帝国憲法と日本国憲法について ・「公共の福祉」について ・憲法第9条について ●18歳からの社会参加…18歳になるとできること、できないこと、その理由など（集団授業）
第2回  提出期限 6月30日	第1章 現代日本の政治	<b>3節：日本の政治機構</b> 1)国会と立法 2)内閣と行政 3)裁判所と司法 4)地方自治 <b>4節：現代政治の特質と課題</b> 1)選挙と政治意識	・二院制（衆議院と参議院）について ・内閣の構造 ・司法権の独立、裁判員制度について ・日本の地方自治について。 ・日本の国政選挙のしくみ ●インターネットと政治…インターネットを使った情報伝達の長所と短所をまとめよう（集団授業）
第3回  提出期限 7月31日	第2章 現代日本の経済	<b>1節：現代の資本主義経済</b> 2)資本主義経済の発展と変容 <b>2節：現代経済のしくみ</b> 2)生産の仕組みと企業 3)市場経済の機能と限界 4)国民所得と経済成長 5)金融の仕組みと機能 6)財政の仕組みと機能	・今日の資本主義経済について ・家計および企業の経済活動について ・独占や寡占の問題点について ・需要曲線と供給曲線、曲線の移動と傾き ・インフレーションやデフレーションについて ・財政の仕組みとプライマリ・バランスについて ●SDGsの達成に貢献するESG投資とは何か？（集団授業） ●ライフプランと金融…金融リテラシーを高めよう（集団授業）  ■前期単位認定試験【9月】

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画 (実施内容)
第4回  提出期限 10月30日	第2章 現代日本の経済	<b>3節：日本経済の発展と現状</b> 1)戦後日本経済の発展 2)日本経済の現状 <b>4節：福祉社会と日本経済の課題</b> 1)公害と環境保全 5)消費者問題 6)雇用と労働問題 7)社会保障と福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済の変遷と産業構造の変化について</li> <li>・日本経済が抱える課題について</li> <li>・四大公害について</li> <li>・おもな問題商法について</li> <li>・雇用環境の変化について</li> <li>・日本の社会保障制度の現状と課題について</li> <li>●働き方について考える…正規雇用と非正規雇用の長所・短所をまとめてみよう (集団授業)</li> <li>●少子高齢化と人口減少・年金制度について (集団授業)</li> </ul>
第5回  提出期限 11月30日	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	<b>1節：国際政治の仕組み</b> 2)国際社会と国際法 3)国際連合の役割と課題 <b>2節：複雑化する国際政治と日本</b> 1)戦後国際関係の展開と日本 2)冷戦後の国際関係と日本 3)地域主義の動き 6)国際社会における日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合の課題について</li> <li>・冷戦体制について</li> <li>・現在の国際社会の課題について</li> <li>・EUの成立過程, 特徴について</li> <li>・日本の国際協力や開発援助の現状, 課題について</li> <li>●日本のODAはどうあるべきか? (集団授業)</li> <li>●世界の紛争地図 (集団授業)</li> </ul>
第6回  提出期限 12月25日	第2章 現代の国際経済  第3章 国際社会の課題	<b>1節：国民経済と国際経済</b> 1)貿易と国際収支 2)戦後国際経済体制の展開 <b>2節：世界経済の現状と課題</b> 2)地球環境問題 3)資源・エネルギー問題 6)持続可能な社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定為替相場制と変動為替相場制について</li> <li>・円高・円安のメリット・デメリット</li> <li>・地域経済統合について</li> <li>・地球環境問題と環境問題への対応について</li> <li>・資源・エネルギーに関する課題</li> <li>・今後の日本のエネルギー政策について</li> <li>●持続可能な開発目標(SDGs)について(集団授業)</li> </ul> <p style="text-align: right;">■後期単位認定試験【12月-1月】</p>

あおい開惺高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	教科書	副教材
倫理	2	東京書籍「倫理」	DVD-ROM「倫理」
評価方法	添削指導（計6回）、試験（年2回）、面接指導（年2回）での評価		

指導目標

- 1 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方・生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けさせる。
- 2 自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために、倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。

〔評価の観点〕

【主体性】・現代の諸課題を考察し、その課題の解決に向けてより深く思索するための手がかりを主体的に追究し、自身の生き方に反映させようとしている。

【知識・技能】・現代の諸課題を解決する手がかりとするため、幅広い哲学・思想に関連する、基本的な内容を理解するための情報探究の技術を身に付け、それらの知識の理解を深めることができている。

【思考・判断力・表現力】・現代の倫理的諸課題について、その現状を分析し、解決に向けて必要となる取り組みを考察し、自分の言葉で説明できる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回  提出期限 5月29日	第1章 人間の心の在り方  第2章 様々な人生観・倫理観・ 世界観Ⅰ	<b>1節：人間とは何か</b> 1)人間の特質 2)青年期の課題 <b>2節：人間の心の働き</b> 1)認知 <b>1節：哲学すること</b> 1)人間と哲学 <b>2節：ギリシャの思想</b> 1)哲学の誕生と自然哲学 2)ソクラテスとソフィスト 3)プラトン 4)アリストテレス 5)ヘレニズム時代の思想	面接指導 【～2月26日まで】 ・青年期の心理について ・哲学について ・古代ギリシャ・ヘレニズム思想について ●記憶のメカニズムについて… エピソード記憶と意味記憶の違いは何か？ (集団授業) ●推論と問題解決について… 気が付かないうちに自分が用いているヒューリスティックは何か？(集団授業)
第2回  提出期限 6月30日	第2章 様々な人生観・倫理観・ 世界観Ⅰ	<b>4節：キリスト教</b> 1)『旧約聖書』の倫理 2)イエスの教え 3)キリスト教の展開 <b>5節：イスラーム教</b> 1)ムハンマドとイスラームの教え 2)イスラームの展開 <b>6節：仏教</b> 1)古代インドの思想 2)ブッダの思想 3)仏教の展開 <b>7節：中国の思想</b> 1)孔子と儒家の思想 2)儒教の展開 3)老荘思想	・キリスト教とその発展について ・イスラームとその発展について ・仏教とその発展について ・諸子百家の思想について ●日本人の宗教観とその実例… どうして一つの家に仏壇と神棚があるのだろうか？(集団授業)

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画 (実施内容)
第3回  提出期限 7月31日	第4章 国際社会に生きる日本人 としての自覚	<b>1節：日本人の精神風土</b> 1)日本人の宗教観 2)日本人の倫理観 <b>2節：仏教と日本人の思想形成</b> 1・2)仏教の受容と日本的展開 3)仏教と日本文化 <b>3, 4, 5節：江戸時代の思想</b> 1・2)儒教の受容と日本的展開 3)国学の形成と展開 4)庶民の思想の発展 5)幕末の思想 <b>6節：西洋思想と日本人の近代化</b> 1)近代化と啓蒙思想 2)キリスト教の受容 3)近代的な自己の追究 4)近代日本の創造的な思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の宗教観と倫理観について</li> <li>・日本における仏教の発展について</li> <li>・江戸時代の思想について</li> <li>・明治時代, 明治以降の思想について</li> <li>●東洋の自然観・西洋の自然観 (集団授業)</li> <li>●日本人の自然観, 宗教観, 倫理観 (集団授業)</li> </ul> <p style="text-align: right;">■前期単位認定試験【9月】</p>
第4回  提出期限 10月30日	第3章 様々な人生観・倫理観・ 世界観II	<b>1節：近代と人間尊重の精神</b> 1)人間主体の時代 <b>2節：近代思想の展開</b> 1)新しい学問の方法 2)経験論と合理論の対話 3)社会契約論 <b>3節：人格の尊厳と人倫の思想</b> 1)カントの思想 2)ヘーゲルの思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンスと人文主義者たち</li> <li>・宗教改革について</li> <li>・カルヴィニズム, 資本主義を生み出す精神的 基盤</li> <li>・経験論と合理論について</li> <li>・社会契約説について</li> <li>・ドイツ観念論について (カント・ヘーゲルの思想)</li> <li>●活版印刷術の果たした役割 (集団授業)</li> <li>●啓蒙主義について (集団授業)</li> </ul>
第5回  提出期限 11月30日	第3章 様々な人生観・倫理観・ 世界観II	<b>4節：社会変革の思想</b> 1)功利主義と幸福 2)社会主義思想 3)社会の進歩と実証的思想 <b>5節：理性への疑念</b> 1)世界をとらえる知のあり方 の変容 <b>6節：人間観・言語観の問いなおし</b> 1)存在への問い 2)新たな知の枠組み <b>7節：他者・自然との関わり</b> 1)他者と言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・功利主義について (ベンサム, J・S・ミルの思想)</li> <li>・社会主義思想について</li> <li>・実証主義や進化論, プラグマティズムの思想について</li> <li>・実存主義について</li> <li>・構造主義について</li> <li>●教育においてプラグマティズム思想の果たす役割, 各々の教育観 (集団授業)</li> </ul>
第6回  提出期限 12月25日	第3章 様々な人生観・倫理観II  第2編 現代の諸課題と倫理	<b>7節：他者・自然との関わり</b> 2)民主社会の成熟のために 3)社会参加と奉仕 4)自然と人間とのかかわり  <b>1節：生命</b> <b>2節：自然</b> <b>3節：科学技術</b> <b>4節：福祉</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主社会の成熟, 公共性について (ロールズ, センの思想)</li> <li>・マザーテレサの活動について</li> <li>・現代社会の諸課題と倫理について (生命倫理, 環境倫理)</li> <li>・先端科学技術の利用と人間生活, 福祉社会のあり方について</li> <li>●インターネットの弊害について (集団授業)</li> </ul> <p style="text-align: right;">■後期単位認定試験【12～1月】</p>